

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五
藤枝市藤枝四一七
大慶寺 大場正昭
FaxTel 〇五四-六四一-二二九
〇五四-六四四-六二六
ohba@enmyozan.org

宗祖降誕八百年記念事業の進捗①

昨年7月に記念事業趣意書を檀信徒各位に送付させて頂きました。

各位のご協力を頂き、平成30年4月に第1期工事として「本堂耐震・改修工事並びに庫裡新築工事」を開始しました。お陰様で浄財寄付金も、多くの方々から納入して頂き、心より深く感謝申し上げますと共に、なお一層のご協力の程お願い申し上げます。

来年には第2期工事「客殿耐震・改修工事・屋根葺替工事」が始まります。暫く客殿が使用できなくなり、ご迷惑をおかけ致しますが、重ねてご協力の程お願い申し上げます。

鎌倉市の服部誠様、藤枝市の高野重雄様、山本好子様、静岡市の柴田ちる様、新堀直勝様、府中市の今井資久様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。ここに篤くお礼申し上げます、法話箋作りの資とさせていただきます。

宗祖降誕八百年記念事業進捗2

今年の4月に始まった記念事業も、各業者の協力を頂き、今月中旬に第1期工事を終了することができそうだ。改めて檀信徒のご理解、ご協力に感謝する次第。

「本堂耐震・改修工事」

は既に2回ほどご報告したが、写真の様に、ベタ基礎にし、樫の柱の基礎も1間4方とした。更に貫を新たに通し、ダンパーを必要箇所に取り付け、地震対策をより進めた。

本堂内部も、漆喰壁を11箇所増やし、更に襖障子を新たに入れ、空調設備の効果を高めることができた。

「今年の施餓鬼は涼しく、特に暑い夏だったので助かった」という話をお盆の棚経の時に聞き、こちらも安堵した。

なお、客殿も来年の工事でエアコンが入る。お施餓鬼時の役員さんの受付もやっと涼しい



ところでやってももらえる。来年の夏からは法事や行事で多いに活用して頂ければ有り難い。

一方、庫裡は旧庫裡を崩しての新築なので、工事中の生活がかなり厳しいものとなった。

工事中、寺の者が誰もいないのは不用心。例えば夜中に何かあった時には困るので、やはり常駐が必要だ。

そこで、工事中、客殿で生活することにした。台所は新客殿の台所、食事は客殿の玄関を上がって右横の部屋、物置部屋を整理し、寝室として使っている。

今年は7月から暑い日が続いた。もともと食事部屋、寝室にはエアコンがなかったが、さすがに風通しの悪い2部屋では今夏の生活は楽ではない。急遽、旧庫裡で使用した古いエアコンをつけてもらい急場を凌いでいる。

このところ、一時より暑さが和らいだ。後15日ほどで庫裡も完成する。